

とおかまち

Public Relations

市報

No.267



5 2016
/10

平成28年 5月10日号

特集

住み慣れた地域で安心して暮らすために

つまり医療介護連携センター (2~7ページ)

＼ わたしたちもお手伝いします。 ＼



その他の主な内容

8	ピックアップニュース	13	タウントピックス
10	第二次十日町市総合計画	14	連載コーナー①
11	住民健診のお知らせ	15	キラメキワークス
12	自転車安全月間	20	お知らせ・ガイド
	市指定文化財／	22	連載コーナー②
	十日町市結婚促進事業		熱中・夢中／おらほのたから
			ジュニア芸術祭

住み慣れた地域で安心して暮らすために つまり医療介護連携センター

●問合せ＝福祉課 ☎ 757-9758

市民の皆さんが住み慣れた地域・我が家で安心して暮らすことができるように、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できる体制づくりを進めています。その拠点として「つまり医療介護連携センター」を設立しました。この特集では、同センターが担う在宅医療の推進についてお知らせします。

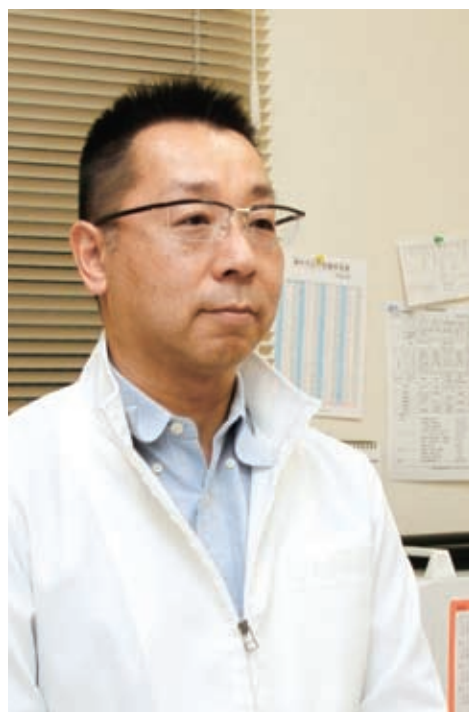


地域の医療・介護の現状と「つまり医療介護連携センター」の役割
 地域の医療・介護の現状と、つまり医療介護連携センターの役割を、センター長の山口義文さんから聞きました。

なぜ今「在宅医療」が進められているの？

全国的に医療費や介護保険の費用が膨らみ、財政負担が大きくなっています。また、2025年には団塊の世代が75歳を超え、介護を必要とする高齢者が増加することで介護サービスの不足が予想されています（＝2025年問題）。今までのように体調が悪くなったら病院へ行き、入院してそのまま亡くなるということが困難な状況になってきているため「在宅医療」が見直されているのです。

患者さん本人にとっても、住み慣れた地域・自宅で家族と共に生活ができることが一番良いことです。その皆さんの思いを実現するためにも「在宅医療」が進められています。



つまり介護医療連携センターセンター長 山口 義文さん

では、元気な高齢者を増やすため健康寿命を延ばす施策を始めています。

十日町市の医療や介護の実態は？

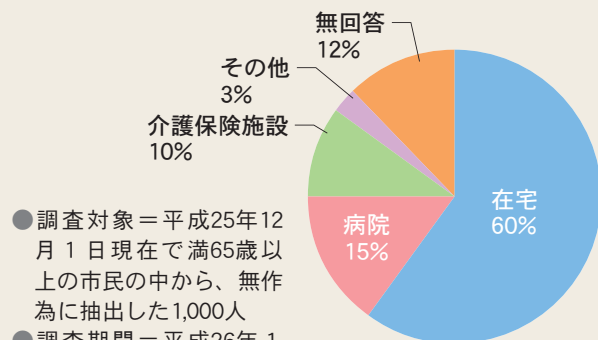
十日町市では、全国的に叫ばれている2025年問題よりも先行して高齢化が進んでいます。平成28年3月末のデータでは高齢化率が36%近くになっています。人口は減少

し、要介護認定者は増加しています。亡くなるところは病院など医療機関が多く、全体の80%ですが、市が実施したアンケートでは約60%の人が自宅で最期を迎えたいという希望があります。

その一方で、それがかなうと思う人は11.5%とその差が大きいのが現実です。この要因として、介護する人への負担や、医療や介護サービスの不足があります。

人生の最後をどこで迎えたいですか

（日常生活圏ニーズ調査から抜粋）



- 調査対象＝平成25年12月1日現在で満65歳以上の市民の中から、無作為に抽出した1,000人
- 調査期間＝平成26年1月20日～同年1月31日
- 回答数＝861人

60パーセントの人が自宅で最期を迎えたいと思っています。しかし、現実には全体の80パーセントの人が病院など医療機関で亡くなっています。

十日町市の高齢化の状況

	2016年（3月31日）	2025年（推計）
人口総数	55,655人	47,824人
64歳以下	35,680人（64.1%）	27,741人（58.0%）
65歳以上	19,975人（35.9%）	20,082人（42.0%）
75歳以上	11,177人（20.1%）	12,349人（25.8%）

第1号被保険者（65歳以上）の介護認定数

	2015年（3月31日）	2025年（推計）
介護認定者	3,677人（18.6%）	4,016人（20.0%）
要介護3～5	1,611人（43.8%）	1,888人（47.0%）
65～74歳	114人（7.1%）	151人（8.0%）
75歳以上	1,497人（92.9%）	1,737人（92.0%）

高齢者数・介護認定数とも、2025年には増えることが予想されています。

つまり医療介護連携センターはこんなところ

在宅医療と介護の連携を進めるために取り組みます。

- 地域医療・介護の課題抽出と、対応策を検討します
- 切れ目ないサービスを提供するための仕組みを作ります
- 関係者への相談支援や研修によるスキルアップを図ります

在宅医療とは

自宅などの生活の場で行う医療のこと。訪問診療や往診、訪問看護師による医療処置、各専門職による歯科治療・薬の処方・リハビリなどを受けることができ、介護サービスとも連携して皆さんの生活を支えます。在宅医療は「通院が大変で困っている」「住み慣れた我が家で治療したい」などの要望に応え、いつまでも住み慣れた我が家・地域で安心して暮らしていくことを実現します。

つまり介護医療連携センターの役割は？

当センターは、県の補助金と市の委託により、十日町市中魚沼郡医師会が設立しました。医療・介護の担い手が少ない十日町市だからこそ、市民の皆さんから、安心して在宅で医療・介護を受けてもらえるような仕組みを築いていく役割を担っています。

これまでの2年間、十日町・川西地域で取り組んできた「在宅医療連携モデル事業」



を全市に広げるため、在宅医療を進めていく核として、医療・介護が連携する仕組みづくりや、市民の皆さんに在宅医療の必要性を理解してもらうための事業を進めます。

センターの取組みの基、「在宅医療連携モデル事業」とは？

「在宅医療連携モデル事業」は、市民の皆さんに在宅医療の必要性を理解してもらうことが大きな目的でした。市民向けの講演会やワークショップのほか、少人数での講座などを開催しました。一方で、医療や介護の関係者も研修会や事例検討会などを開催し、職種を越えた情報交換も重ねました。

その結果、在宅医療を推進する体制が整い、医療・介護関係者が患者さんに対して共通の認識・情報を持ちながら関わる仕

職員に携わる介護にスキルアップを図るため、研修会などを開催しています。



組み「つまりケアネット」ができました。また高齢者施設用と在宅医療・介護用の「看取りの手引き」などのマニュアルも作成し、特別養護老人施設の医師との連携体制もできました。

これらの実績を基に、新しい連携センターでは、さらに充実した在宅医療を進めます。

市民へのメリットは？

入院していた高齢者が退院したあと、家庭で介護が必要になったとき、家族はケアマネジャーや地域包括支援センターに相談すると思います。これまでのモデル事業で築いた多くの職種の連携により、患者さんを中心に関係者がそれぞれの考えを話し合うことで、さまざまなことができるようになります。これは患者さんや、その家族にとっても大きなメリットです。

ほかにも、普段の健康状態を診てもらったための「かかりつけ医」と、体調が悪くなったときに入院する病院との連携が必要です。退院後には訪問看護や介護など、さまざまなサービスを利用することで、本人や家族の負担も減ります。誰もがどの場所でも同じように医療・介護のサービスを受けられる体制と仕組みを作ることで、皆さんの不安を解消します。

市民がやるべきことは？

医療従事者と介護従事者のサービスを提供する側と、サービスを受ける市民の皆さんがお互いに理解を深め、信頼関係をつくることが大切です。国では在宅での看取りと、健康長寿を目指すことを方針としています。そのため、医療・介護の関係者も関わっていくのですが、やはり、市民の皆さんが在宅医療についての認識を持ってもらうことが必要です。そうした理解を深めることも、センターの役目のひとつです。

医療従事者と介護従事者のサービスを提供する側と、サービスを受ける市民の皆さんがお互いに理解を深め、信頼関係をつくることが大切です。国では在宅での看取りと、健康長寿を目指すことを方針としています。そのため、医療・介護の関係者も関わっていくのですが、やはり、市民の皆さんが在宅医療についての認識を持ってもらうことが必要です。そうした理解を深めることも、センターの役目のひとつです。

つまり医療介護連携センターへのセンター長としての思い

医療と介護は誰にでも関係することです。この地域は、医療・介護の資源が多くありません。しかし、高齢化はすでに始まり、それを支える若い人たちは少なくなっています。患者さんも家族も安心して暮らせること、最後まで住み慣れた地域・自宅にいたることができる環境を作るために、医療と介護の連携が重要です。

医療と介護をつなぎ、患者さんと住み慣れた地域をつなぐための一つの柱として、つまり医療介護連携センターは活動していきます。



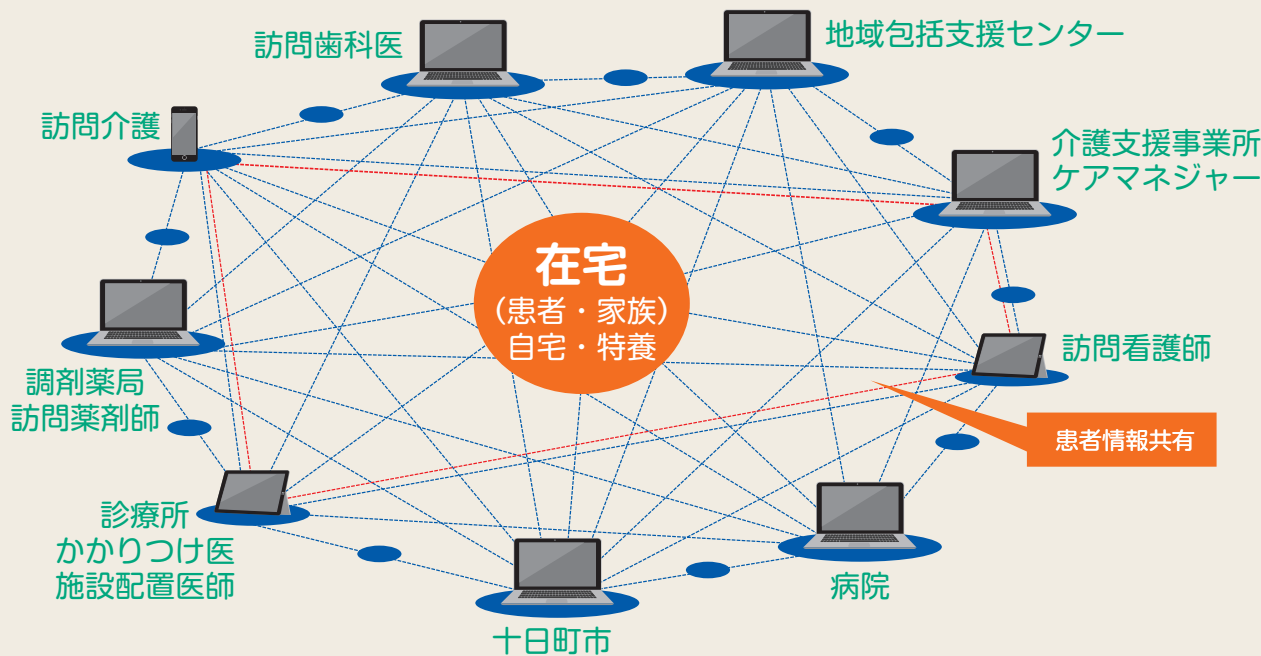
市と医療・介護の関係機関の代表者が契約書に調印しました。

医療・介護関係者が情報を共有できるシステム「つまりケアネット」

医師・十日町病院・介護支援専門員・特養施設職員・訪問看護ステーション・保健所・システム担当（市・事業者）で構築したシステムです。

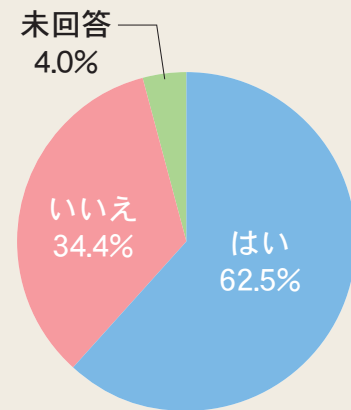
主治医が不在のときも当番制で医師が協力することで、特別養護老人ホームや自宅での24時間365日の看取り対応ができるようになりました。このネットワークを活用することで、より円滑な連携が期待されます。※セキュリティポリシーと操作研修会の実施により、個人情報保護も徹底しています

つまりケアネット（イメージ図）

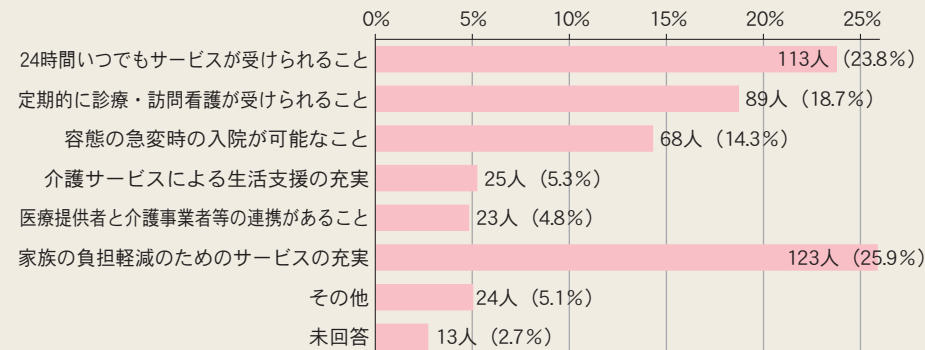


住民アンケート結果（一部抜粋）

あなたは、「在宅医療」について知っていますか？



在宅医療の充実には、どのようなことが一番重要だと思いますか？



十日町地域が考える みんなで支える在宅医療

在宅医療と介護の充実に期待します



ケアプラン ローレル
介護支援専門員
岩田 秀子さん

つまり医療介護連携センターの開設で、これまで以上に在宅医療と介護の提供体制が充実すると思います。その人が住み慣れた我が家で安心して療養でき、必要なときには速やかに入院ができることなど、本人や家族の皆さんと、支援する医療・介護の専門職も支える機能を持つセンターになることに期待しています。



(一社)十日町市中魚沼郡医師会事務局に新しい看板が掲げられ、つまり医療介護連携センターの業務が始まりました。

関係者とともに進めてきた活動・事業の発展を

医療や介護が必要な高齢者は増えていますが、入院病床は減少し、入居型施設も少なく、在宅医療・介護を担うマンパワーも足りていません。広い地域に高齢者が点在し、冬は雪に身の安全も脅かされるこの地域では、在宅医療や介護にも大変な困難が伴います。これからは、病院・診療所・介護施設・在宅での診療や介護を実施する機関が、より一層協力して慢性期や障がいのある患者さんを支えていく必要があります。

医師会では、地域の在宅医療推進や介護との連携支援を目的に「つまり医療介護連携センター」を開設しました。行政や多職種とともに進めてきた「とかまち地域ケアネット活動」や特養・在宅看取りモデル事業を、発展させていきます。市民の皆さんからもご協力をお願いいたします。



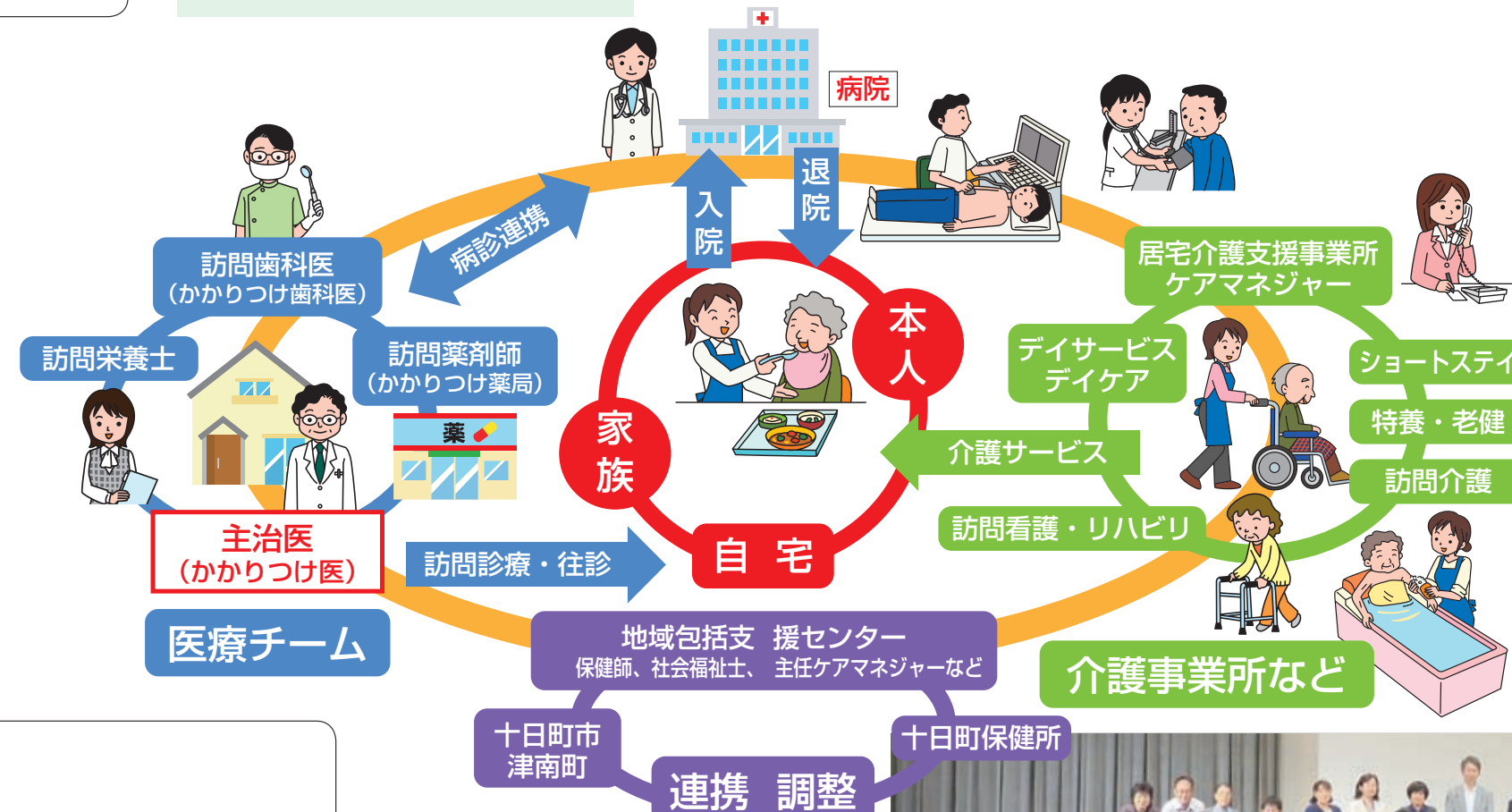
十日町市中魚沼郡医師会
会長 富田 浩さん

地域包括支援センター

高齢者の皆さんの生活をサポートします。

- ・十日町北地域包括支援センター
(下条・中条・川西) ☎761-7406
- ・十日町東地域包括支援センター
(十日町・新座・大井田) ☎750-5380
- ・十日町中地域包括支援センター
(川治・六箇・吉田) ☎755-5115
- ・十日町南地域包括支援センター
(水沢・中里) ☎758-2324
- ・十日町西地域包括支援センター
(松代・松之山) ☎597-3805

※ () は担当区域



在宅医療・介護をサポートする人たち

- ・主治医 (かかりつけ医)
- ・病院医師・看護師
- ・訪問看護師
- ・薬剤師 (かかりつけ薬局)
- ・訪問歯科医 (かかりつけ歯科医)
- ・管理栄養士
- ・ケアマネジャー (介護支援専門員)
- ・訪問介護士 (ホームヘルパー)
- ・理学療法士・作業療法士 (訪問リハビリテーション)
- ・病院MSW (メディカル・ソーシャルワーカー) など

ほかの職種と連携して患者さんを支えたい



現在、市内には4つの訪問看護ステーションがありますが、訪問看護へのニーズは高く、対応できていない状況でした。このセンターが設立されたことで、訪問看護へのバックアップ体制も整い、訪問看護とほかの職種が連携して患者さんを支える仕組みができることを期待しています。

十日町訪問看護ステーション ポピー
看護師 田辺 由美子さん



つまり医療介護連携センターに携わる皆さん

方針 1 人にやさしいまちづくり

全ての市民が、生涯を通じて自分らしく心豊かに暮らせる十日町市を目指します。

政策

- ①安心して子どもを産み育てられるまち
- ②ふるさとを愛し自立して社会で生きる子どもを育てるまち
- ③地域で支え合う福祉のまち
- ④すべての市民が尊重され活躍できるまち



方針 2 活力ある元気なまちづくり

さまざまな魅力を磨き上げ、広く内外と連携を図り、山も里もまちなかも元気な十日町市を目指します。

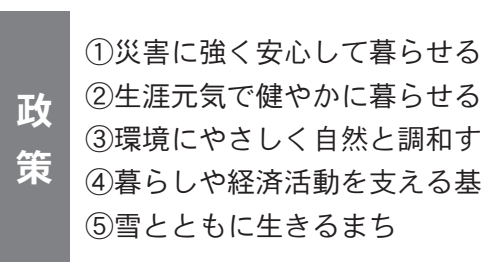


政策

- ①怒涛の人の流れで活気あふれるまち
- ②活力ある農林業と魅力的な里山のあるまち
- ③力強い産業と雇用を育むまち
- ④誰もが自由に楽しく学び多様な文化にふれあえるまち
- ⑤住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち

方針 3 安全・安心なまちづくり

市民が一年を通じて、安全・安心で快適な生活を送ることができる十日町市を目指します。



政策

- ①災害に強く安心して暮らせるまち
- ②生涯元気で健やかに暮らせるまち
- ③環境にやさしく自然と調和するまち
- ④暮らしや経済活動を支える基盤の充実したまち
- ⑤雪とともに生きるまち

目指すまちの姿を実現するために、
3つの方針と合わせて、次の5つの戦略を重点的に推進します

未来 戦略

戦略

- ①…時代を担う「人財」を育てます
- ②…十日町市への人の流れを加速します
- ③…新しい力で産業を活性化します
- ④…再生可能エネルギーを最大限創り出します
- ⑤…健康な高齢者を増やします



第二次十日町市総合計画を策定



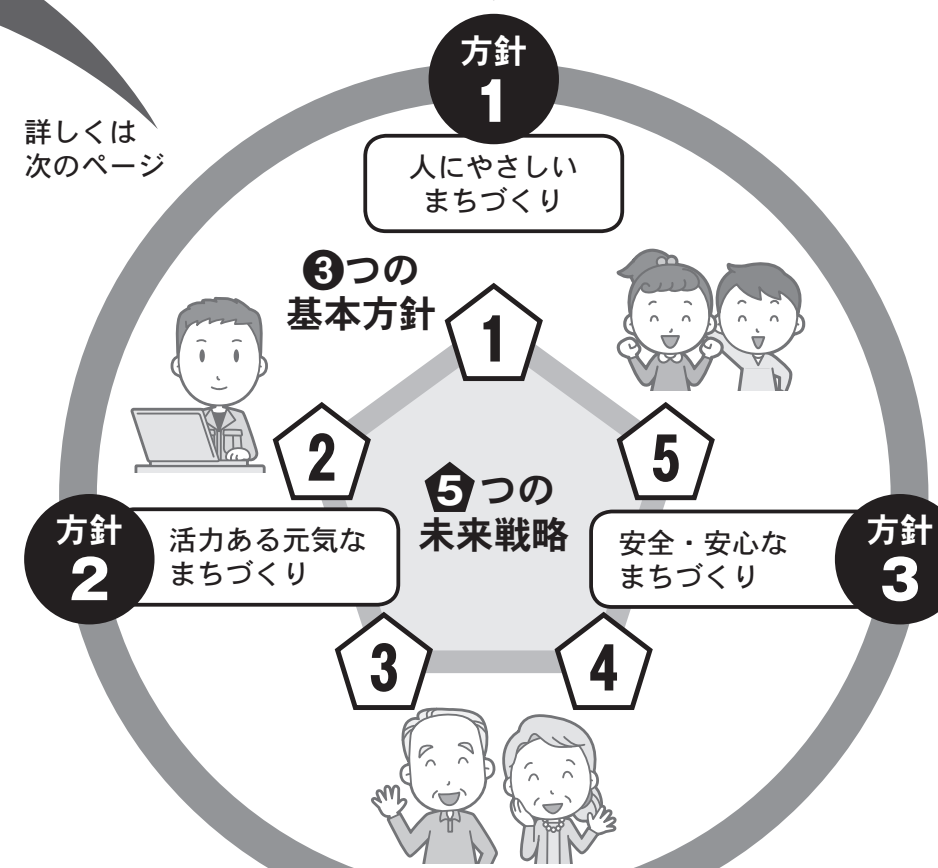
十日町市の未来に向けた計画ができました

問合せ：企画政策課企画政策係 ☎757-3193

基本構想（計画期間：平成28年度から平成37年度までの10年間）

▶▶▶▶ 目指すまちの姿
選ばれて 住み継がれるまち とおかまち

3つの基本方針・5つの未来戦略



詳しくは
次のページ

地域別の振興方針

地域別の振興方針は、地域自治組織を母体とし、今後の地域づくりを推進するため、市内13の地域ごとの位置付けや役割・振興方針を示したものです。

まちづくりの推進に向けて

- ①協働のまちづくりの推進
- ②時代に即応した自治体経営

市では、「十日町市まちづくり基本条例」に基づき、平成28年度から平成37年度までのまちづくりの羅針盤となる「第二次十日町市総合計画」を策定しました。
10年間のまちづくりの指針として、目指すまちの姿や政策の方針などを示した「基本構想」と、その基本構想を実現するために中期的（前期5年間）に取り組む具体的な施策の展開や目標値を定めた「前期基本計画」で構成しています。
策定した計画は市ホームページに掲載するほか、市の各施設に設置しています。



5月は自転車安全月間



自転車の正しい交通ルールを守りましょう

問合せ：防災安全課交通防犯係 ☎757-3197

住民健診のお知らせ



ピロリ菌抗体検査をはじめます

問合せ：健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764

守っていますか？ 「自転車安全利用 5 則」

1 自転車は車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。車道と歩道の区別があるところは原則車道を通行しましょう。



2 車道は左側を通行

道路の左側に寄って通行しましょう。



3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道ではすぐに停止できる速度で通行しましょう。歩行者の通行を妨げるときは、一時停止してください。



5 子どもはヘルメットを着用

保護者は子どもにヘルメットを着用させましょう。



4 交通安全ルールを守る

飲酒運転はもちろん、2人乗りや並走などは禁止です。交差点では信号をよく見て、一時停止や安全確認をしてください。また夜間はライトをつけましょう。

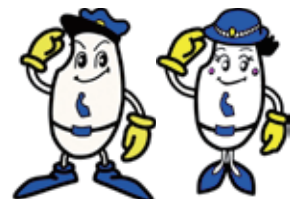


「自分のため」「人のため」

損害賠償責任保険に加入しましょう

自転車は手軽なイメージがありますが、交通事故の加害者になってしまうと、多額の損害賠償が発生する恐れがあります。（1億円近い賠償を命じられたケースあり）

この賠償責任は、未成年でも責任を免れることはできません。万が一の交通事故に備え、「自転車保険」や「TSマーク制度」の加入を検討しましょう。（※TSマーク制度は自転車販売店などで加入できます）



ひかるくん ひかりちゃん
（新潟県警察マスコット）



自転車は車両です。
安全運転を
心がけましょう。



TSマーク付帯保険
（1年間有効）

対象となる人

年齢	生年月日
40歳	昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
45歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日
50歳	昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
55歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日
60歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
65歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日
70歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日

※平成28年4月1日時点での年齢

平成28年度のピロリ菌抗体検査

- 対象Ⅱ左表のとおり
- 検査方法Ⅱ血液検査
- ※血液中に含まれるピロリ菌抗体を測定し、胃の中にピロリ菌が存在しているかを調べます
- 検査料金（自己負担）Ⅱ千円
- 受診方法Ⅱ対象者へ5月下旬に受診票を郵送します。受診したい人は必要事項を記入し、健診会場へお越しください。

今年度から、市の住民健診会場で「ピロリ菌抗体検査」を実施します。

ピロリ菌ってなんだろう

胃の粘膜に生息している細菌で、正式には「ヘリコバクター・ピロリ菌」といい、慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍などの病気に深く関わっていることが分かっています。ピロリ菌に感染していても、ほとんどは自覚症状がありません。そのため、そのまま放置してしまい慢性胃炎になる恐れがあります。さらに長い期間この状態が続くと、胃の粘膜の萎縮が進んだ状態（萎縮性胃炎）になり、それが原因で胃がんを引き起こすこともあります。



ピロリ菌に感染していたら…

一般的には内視鏡検査を行い、医師が必要と判断したときは保険適用で除菌治療ができます。除菌が成功すると、ピロリ菌に関係しているさまざまな胃の病気のリスクは減ります。

胃がん検診も受けましょう

ピロリ菌抗体検査は胃がんなどの病気を発見するための検査ではありません。また、ピロリ菌に感染していないから胃がんにならないというのは間違いです。胃がんの発見には、胃のバリウム検査や内視鏡検査が有効です。1年に1回、胃がん検診を受診することをお勧めします。

胃がん予防講演会のご案内



ピロリ菌ってなんだろう？ どうやって除菌するの？ 除菌したら胃の病気にならない？

そんな疑問に答えます。ぜひご参加ください。

日 5月28日(土)午後2時～3時30分
（1時30分開場）

会 クロステン

内 知っておきたいピロリ菌のこと

講 富所隆さん

（厚生連 長岡中央総合病院副院長）

申込み不要
定員300人

表彰おめでとうございます

宮本警報器㈱十日町工場に勤める4人が「平成28年度 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」を受賞しました。優れた創意工夫で技術の改善・向上に貢献したことが、高く評価されました。4人の上司にあたる副工場長の丸山光司さんは「これからも創意工夫に取り組み、ものづくりの現場から競争力を高めていきたい」と話しました。

文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞

左から丸山栄一さん、増田可津夫さん（ホーン振動版組立て自動化の改善）／副工場長の丸山光司さん／山本義則さん、小川肇さん（型式段取り替え治具の回転固定方法の考案）



特産品が目白押し

4月16日(土)：まつだいふるさと会館

地元の特産品が雁木通りに並ぶフリーマーケット「愛の風」が今年も始まりました。今年は28店舗が随時出店する予定です。

パン類を販売する「小麦専科あかつき」の橋本暁子さんは、初めての出店に「毎週お店を出して皆さんに定着するようにしたい」と意気込みました。

開催日：4月9日～11月20日毎週土・日曜日・祝日の午前中



おいしく育ってね

4月13日(水)：松代区



今年から始まった「大地の教育ファーム事業」の一環として、松代小学校2年生の児童25人がじゃがいもの植え付けをしました。「まつだい地産地消の会」柳武さんや地域おこし協力隊と一緒に作業をし、参加した小堺奏良くんは「やさしく土をかぶせることができた」と、体験を振り返りました。

この日植えたじゃがいもは7月上旬に収穫できる予定で、松代小学校の給食や調理実習などに使われます。

真夏の雪まつりに向け保冷シートかけ作業

4月8日(金)：大蔵寺高原

8月14日に開催される「真夏の雪まつり」に向けて、雪山が解けないように保冷シートがかぶせられました。例年より雪山が尖っていたため、頂上での作業は難航しましたが、無事終了しました。

大蔵寺高原は4月29日（昭和の日）オープン予定です。皆さんのお越しをお待ちしています。



市指定文化財

新たに2件が指定されました

問合せ：文化財課文化財保護係 ☎756-5015

名 称	旧村山家主屋・表門（建造物）	所有者	一般財団法人 大棟山美術博物館 だいてうざん
	建物は文学者の坂口安吾の遺品や多数の書画・陶芸品などが展示され、大棟山美術博物館として公開されています。主屋は近代和風建築の粋を集めた建物で、表門は民家では希少な高麗門形式となっていて、歴史的価値が高く評価されました。	 	主屋 表門

名 称	樽沢開田遺跡出土品（考古資料）	所有者	十日町市（博物館所蔵）
	 	樽沢開田遺跡は、縄文時代後期・晩期の集落跡です。約3,000年前の土器や土製品がまとまって出土し、石器・石製品を含め計98点が指定されました。縄文時代の他地域との文化的交流を解明するうえで重要な資料となります。	

十日町市結婚促進事業「とおかまちハッピー婚シェルジュ」イベント実施団体募集

まちぐるみで縁を結ぼう

問合せ：企画政策課移住定住推進係 ☎755-5137

募

集

要

項

●対象イベント

- ・独身男女に出会いの機会を提供し、結婚を促進するイベント
- ・結婚を促進するために開催する研修会や講座

※イベントの実施にあたり、参加者から参加費を徴収するイベントに限る

●委託料の上限＝1イベントあたり30万円

●実施期間＝平成28年6月下旬～平成29年3月下旬

●提出書類＝企画書・収支予算書（市ホームページからダウンロード可）

●提出期限＝5月31日(火)※必着

●提出方法＝企画政策課移住定住推進係に持参

注) 委託事業は、予算の範囲内で実施するため、事業の実施を約束するものではありません



市では、より多くの人から十日町市に住み継いでもらうため、独身男女にすてきな出会いの機会を提供し、結婚を促進するためのイベントを委託事業として実施します。出会いの場を提供するためには、まちぐるみで「結婚促進」に取り組むことが大切です。企業・任意団体を問わず、婚活イベントの実施団体を募集します。

平成28年度
信濃川水防訓練（十日町地域）

水防団員による、本番さながらの実技訓練です。
日5月19日(木)午後7時〜8時30分

会 会つまりっ子ひろば
問 防災安全課防災安全係（☎757-3197）

交通安全フェア

楽しいイベントが盛りだくさんです。
日5月21日(土)午後1時〜3時

会 キナーレ
内 ちびっこ白バイ隊制服試着撮影・ダンパー体験ほか
問 (有)セントラル車両・小海（☎755-2609）

催し・講座

GUIDE

～お知らせ・ガイド～

フラメンコ舞踊初心者募集

この機会に始めてみませんか。

【1日体験講習会】
日5月21日(土)午後1時30分〜3時
会 中央公民館
内 リズミカルなルンバを体験できます
【入門クラス新設】
日6月2日(木)〜毎月第1・第3木曜日の午後7時30分〜8時30分
会 フラメンコスタジオ(土市) 月額2千円
内 基礎から丁寧にレッスンします
(共通)
対 小学生以上(年齢不問)
持 運動ができる服装・ヒールが安定しているシューズ
※5月20日(金)
申・問 ソイ・ヒターナフラメンコ教室・入澤（☎090-11123-4314）

森のオカリナコンサート中止のお知らせ

5月21日(土)に予定していたコンサートは、都合により中止になりました。

古民家で花展「野の花と遊ぶ」

日5月28日(土)・29日(日)午前10時〜午後4時
会 奴奈川姫の家(松代室野診療所隣)
他 抹茶のサービスあり
問 野の花を活ける会・岩田（☎090-5255-9699）

魚沼テクノスクール・オープンキャンパス

電気施設科・木造建築科・エクステリア左官科での体験を含めた授業、授業・資格・就職などについて案内します。進路の検討に役立ててください。
日5月28日(土)、6月18日(土)、7月9日(土)、8月24日(水)午後1時30分〜※受付1時〜
対 中学生、高校生、概ね40歳までの求職者
会・問 新潟県立魚沼テクノスクール（☎025-794-2410）

十日町市民吹奏楽団'16 in キナーレ

日6月4日(土)午後5時〜
会 キナーレ
内 サンバ・デ・ミネルバ、トロンボーンとバンドのためのサマータイム、たなばたほか※十日町ジュニアウィンドアンサンブルとの合同演奏あり
問 近藤（☎090-2218-9401）

上越テクノスクール 在職者訓練(技能向上コース) 受講生募集

【JW-CAD(初級)コース】
日6月4日(土)・11日(土)午前9時〜午後4時
¥2400円
定10人※超えたときは抽選
内 JW-CADの基本操作※各コマンドの操作方法
※5月26日(木)
【ビジネススキル向上コース】
日6月21日(火)・23日(木)・28日(火)・30日(木)午後6時30分〜9時30分
¥2400円

中央公民館日本語教室 エンジョイ!日本語ひろば

日本語で困っている人、参加してみませんか。
日6月7日(火)〜10月18日(火)※全20回(火曜日と金曜日)火曜日・午前10時〜11時30分、金曜日・午前10時30分〜正午
会 中央公民館
対 外国人
¥4千円
持 筆記用具

協業企業

■株式会社宇都宮製作所 十日町工場

- ・NC工具研削盤・各種工具の製造販売
- ・十日町稲荷町2
- ・従業員数107人
- ・☎757-2114
- ・自社ブランドをもつ数少ない切削機械メーカー。企業理念の1つは若手の成長、積極性を重視し、そのためのフォローを惜しまないこと。



齋木 緩美さん(城之古3・25歳)
高校卒業後、南魚沼市の旅館で仲居の仕事を経験後、地元に戻り就職。現在は生産管理課で資材調達を担当。

若者×若者 キラメキワーカーズ

■問合せ
産業政策課
☎757-3139



宮沢 大輔さん(新宮2・26歳)
機械メーカーへの就職を志し、高校・大学と機械工学を学ぶ。大学卒業後は十日町市に戻り就職して5年目。機械設計を担当。

暮らしやすい場所で働きたい会社就到

宮沢さん―大学で機械工学を学んだ後、当社に就職しました。県外で生活したからこそ、十日町市は水も食べ物も本場においしく、暮らしやすい場所だと実感しています。

齋木さん―東日本大震災を機に、地元に戻り就職しました。福利厚生も充実し、先輩もやさしく働きやすい職場です。

達成感のある仕事をしていきます

宮沢さん―お客様の「こんな機械を作ってほしい」という声を聞き、機械を設計、開発する部署で働いています。緻密で根気のいる仕事ですが、お客様に直接褒めてもらったときは、なによりうれしいです。

齋木さん―宮沢さんたちが設計した機械の製作に必要な部品を調達する仕事をしています。品名を1文字間違えて発注するだけで別の部品が届いてしまうなど、ミスが許されない仕事です。注文数が多いときは混乱することもありますが無事に完成した機械が出荷さ

協力企業

■株式会社宇都宮製作所 十日町工場

- ・NC工具研削盤・各種工具の製造販売
- ・十日町稲荷町2
- ・従業員数107人
- ・☎757-2114
- ・自社ブランドをもつ数少ない切削機械メーカー。企業理念の1つは若手の成長、積極性を重視し、そのためのフォローを惜しまないこと。

自分の将来像を描ける職場です

齋木さん―私の隣には、いつも優しくフォローしてくれる先輩がいます。いつかは自分も周りの人をフォローできる頼りがいのある社員になりたいです。

宮沢さん―現在は、正確に仕事をする心をかけています。いつかはお客様のどのような要望でもかなえられる設計士になりたいです。

れたときには達成感を感じます。

【熱中症予防】
・こまめに水分補給する
・帽子や通気性の良い作業着を着用する
●農林課農業企画係（☎757-3120）

市役所松之山支所
庁舎移転のお知らせ

新庁舎の改修工事が完了し、次のとおり移転しました。
●移転先Ⅱ〒942-1492 松之山1597-2（旧松之山保健センター内）※電話・ファックス番号は変更ありません
●松之山支所地域振興課（☎596-3131）

全国健康保険協会（協会けんぽ）からのお知らせ

全国健康保険協会の保険証（水色）を持つ被扶養者（家族）で40歳〜74歳の人を対象に特定健康診査を実施しています。対象者は市が実施する住民健診会場などで受診できます。4月中旬に、勤務している人の自宅へ対象者の「特定健康診査受診券」を送付しましたので、受診時に保険証と

【お詫び】公共交通マップの訂正について

4月10日号市報と一緒に配布した公共交通マップに、下記のとおりバス時刻表の追加・修正があります。利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。ご確認のうえ、ご利用ください。
※訂正箇所は市ホームページで掲載するほか、企画政策課にて配布します。

南越後観光バス

③ 十日町＝中里＝津南（源内山）線

十日町車庫前発	十日町駅前発	長岡方面からの接続便 始発地	本町3丁目着	十日町本町3丁目発	土市駅前発	中里支所前発	津南着	源内山着
7:34	7:39	小千谷車庫	7:29	7:40	7:53	8:02	8:16	8:38
8:55	9:00			9:01	9:14	9:23	9:37	
9:35	9:40	長岡駅	9:06	9:41	9:54	10:03	10:17	

追加

⑦ 十日町＝六箇線

十日町車庫前発	十日町駅前発	二ツ屋着	二ツ屋発	十日町車庫前着
☆7:20	7:25	7:47	☆7:50	8:14

修正

☎企画政策課企画政策係（☎757-3193）

併せて持参してください。平成28年1月以降に加入した人は6月以降に送付予定です。※退職などにより保険証が使用できなくなったときは受診券も使用できません

☎協会けんぽ新潟支部保健グループ（☎025-242-0264）

あなたの声を市報に載せませんか。

移住者が撮るとおかまち

Finder
ファインダー

市内には、Iターン・Jターンなど市外から移り住んできた人が増えています。そんな移住者の視点で見て・感じた十日町市の魅力を、写真とともに伝えます。

●取材対象＝市外から移り住んだ人（移住者）
●掲載内容＝移住して 感じた市の良さ（風景・人・もの・こと）を写真で紹介

市報では、連載コーナーに寄稿いただける人を募集しています。お知り合いに対象となる人がいましたら、ぜひご紹介ください。

生まれ育ったこの地を離れても、いつも故郷を思い続けてくれている人がたくさんいます。そんな郷土出身者の思い出話から、故郷十日町市への思いを伝えます。

●取材対象＝市外へ移り住み生活している人（郷土出身者）
●掲載内容＝故郷で生活していたときの懐かしい思い出話を、当時の写真を添えて紹介

☎電話または電子メールで下記まで申し込んでください
☎企画政策課広報広聴係 ☎757-3112、電子メール：koho@city.tokamachi.lg.jp

想史創愛
ふるさとへの思い

平成28年度から軽自動車税の制度が変わります

☎税務課市民税係（☎757-3716）

原動機付自転車など	車 種	税率
	50cc以下（ミニカー除く）	2,000円
	50cc超90cc以下	2,000円
	90cc超125cc以下	2,400円
軽二輪	ミニカー	3,700円
	125cc超250cc以下	3,600円
小型二輪	250cc超	6,000円
小型特殊自動車	農耕作業用のもの	2,400円
	その他のもの	5,900円
雪上車	総排気量が660cc以下のもの	3,600円

最初の検査時期は、車検証の「初度検査年月」で確認できます。

軽四輪車など		三輪	四輪			
			乗用		貨物	
			自家用	営業用	自家用	営業用
最初の検査が平成27年3月31日以前	13年未満	3,100円	7,200円	5,500円	4,000円	3,000円
	13年以上経過	4,600円	12,900円	8,200円	6,000円	4,500円
最初の検査が平成27年4月1日以後	平成28年3月31日までに受けたグリーン化特例が適用される車両※	75%軽減	1,000円	2,700円	1,800円	1,300円
		50%軽減	2,000円	5,400円	3,500円	2,500円
		25%軽減	3,000円	8,100円	5,200円	3,800円
	上記以外	3,900円	10,800円	6,900円	5,000円	3,800円

※軽減率は車検証の備考欄に記載

納期限は5月31日(火)です

軽自動車税は金融機関・コンビニエンスストア・市役所会計課窓口・各支所市民課窓口で納付できます。納期限までの納付をお願いします。また、口座振替のとき、残高が不足していると引き落としができません。事前に残高の確認をお願いします。

減免について

一定の条件に該当するとき
に軽自動車税を減免します。

●申請期間Ⅱ5月16日(月)〜24日(火)

●減免の対象となる車両Ⅱ車検証上の名義人に係る要件が次のいずれかに該当する自動車

・身体障がい者、戦傷病者が所有または使用者である。
・知的障がい者、精神障がい者、18歳未満の身体障がい者と生計を共にする人が、

●申請に必要なものⅡ身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳のいずれかと、運転免許証・印鑑・軽自動車納税通知書（5月16日(月)以降順次配達予定）・車検証の写し

●申請先Ⅱ税務課市民税係または各支所市民課

平成28年度から減免申請に個人番号（法人番号）の記入が必要になりました

所有者または使用者であり、障がい者のために利用している

※障がいの区分・等級が対象の範囲内であることが条件です。本人運転と家族運転では範囲が異なります。詳細は問い合わせてください

※減免の対象となる車両は、身体障がい者など1人に対して1台に限られます

・構造が専ら障がい者などの利用に供するための軽自動車

●申請に必要なものⅡ身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳のいずれかと、運転免許証・印鑑・軽自動車納税通知書（5月16日(月)以降順次配達予定）・車検証の写し

●申請先Ⅱ税務課市民税係または各支所市民課



これからも若い人たちに 技を伝えていきたい

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報係 ☎ 757-3112 まで

取材した人



地域おこし協力隊
河原 竜馬さん

庄三郎さんの熟練の技に驚きました。職人も減り、失われつつある技術を次の時代に残していきたいですね。

おいらのわらじ作り

— つなぐ知恵と技 —

12

わら細工・わらじ作り

若井 庄三郎さん

(小谷・85歳)

畑作業ができない冬の仕事としてわら細工を作っている庄三郎さん。今では少なくなつたわら細工職人の一人です。「松之山地域でも5人いるかどうかだね」。わらじを作つて出荷する傍ら、草履やすっぱん(わら製の長靴)、蓑なども作ります。「自分らの子どものころは、小学4・5年生にもなれば、自分で作つたものを履いて学校に通つたもんだよ」。

身の回りにわらで作られた物が多くあつた時代。冬仕事で作つたものを、自分たちで着たり、売ったりしていました。「働き盛りの男の人は冬になると出稼ぎに出るから、村に残るおじいさんたちから教えてもらったんだ」。

最近では、三省ハウスやキヨロロなどで講師としてわら細工を教えることもあります。「若い人たちが興味を持って体験してくれるのはうれしいね」。



①・②規定の型紙も庄三郎さんには不要。「わらの太さに合わせて編み込む回数を手が覚えているんだ」。③わらじ作りの道具「のめし」(本当は足に縄を引っかけるんだが、楽をするのが名前の由来かな)。④毛羽立ちを切り取って仕上げる。⑤完成したわらじ。同じサイズを組にして、5足ずつまとめて出荷。⑥「結び目さえしっかりしていれば脱げっこないよ」。⑦「1足編み上げるのに30分、一冬で400〜500足は作るかな」。



女子18人、男子7人で元気いっぱいに活動中。毎週水曜日午後7時〜8時30分、土曜日午後6時〜8時30分まで、川治小学校体育館で練習しています。市内各地から仲間を随時募集中です。



市内唯一の男子チームメンバーは、2年生から5年生まで全員が試合に出場します。少人数で楽しく真剣に練習を重ね、今年もまずは一勝を狙います。気軽に練習を見に来てください。



女子は低学年高学年に分かれ、和気あいあいと練習。しっかり声出しをしながら、コーチの出すボールを追いかけて、丁寧に返していました。



川治小学校体育館を拠点に活動する、小学生バレーボールチームです。女子のリトルキャッツは15年前、男子のLCボーイズは5年前に設立されました。監督やコーチ、保護者の皆さんに見守られながら、楽しむことを第一に、週2回練習しています。年6回程の試合や他チームとの練習会、納涼会やクリスマス会などを通じメンバー同士との交流も深めています。

◆問合せ…保護者会会長・宮内裕見子さん(☎090-77006-1753)

雪ニモ負けズ 白球を追いかけて

リトルキャッツ&LCボーイズ

キョッキョと体育館にリズムカルに響く足音。監督やコーチのアドバイスに「はい!」と元気に返事をしながら、子どもたちはまっすぐな眼差しで白球を打ち返します。並びながら前後の友達とおしゃべりする笑顔と対照的に、ボールに向き合う姿勢は真剣そのものの。自分の子が参加していた縁で、男子チーム監督を務める上村信一さん(川治内後2)は、「子どもたちが少しずつできることを増やしていく様子を見るのが、何より楽しみです。2年生も練習の成果でサーブが届くようになりました」と語ります。傍らで見守る保護者も、ふとした瞬間に気づく我が子の成長に目を見張るとのこと。

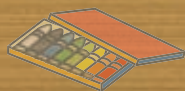
自身もママさんバレーチームに所属する女子チーム監督の涌井晴美さん(川治下町1)は、「自分が選手だからこそ、歯がゆい思いをするのも、それでも子どもたちが一所懸命やっているので、試合で勝つたときは何よりうれしい」と笑顔で語ります。雪にも負けず、子どもたちは仲間と楽しく活動しています。

活動を紹介したい団体を募集しています

ひとサポ ☎761-7444



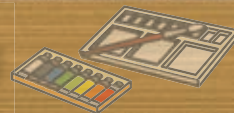
市民活動ネットワークひとサポが、旬な人・団体を紹介します。



ジュニア芸術祭

貝野小学校

131



かがみを見て、じぶん
そっくりになるようにか
きました。ていねいにぬ
ってまわりには、ダイヤ
やえいごをかいで、かわ
いくしました。



わたしのかお

阿部 あんな 杏奈さん（1年）



イルカの大ジャンプ
小川 しおん 史桜さん（2年）



イルカが空をとんだら楽しい
だろうなあと思ってかきまし
た。友だちとのりたと思った
ので、大きくかきました。



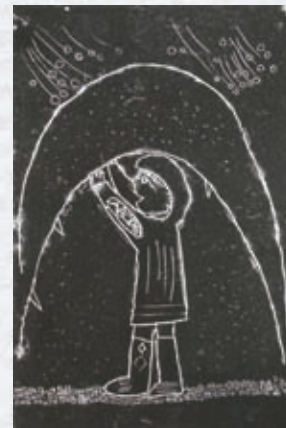
スイミー
南雲 もか 萌夏さん（3年）



2年生のはっぴょう会で、ス
イミーの音楽げきをやっている
ところです。クラゲの色とみん
なのふくの色を、カラフルにし
ました。いちばんすきなばめん
かきました。



線をはりてなぞる時
に、他の面にはりを入れ
ないように気をつけまし
た。足元のこまかい氷の
つぶをはりてきざむのを
工夫しました。



氷の道

南雲 てん 天さん（4年）



まどのわくをクレヨン
でかき、指でこすってみ
たらリアルにできまし
た。花びらをこまかくか
いたり、植木鉢のよご
れや、きずついている様
子もかきました。



風景と花

吉樂 けんた 健太さん（5年）



きれいだった桜
吉樂 いつき 慈希さん（6年）



4年生のときに家族で桜を見
たときの絵です。花びらをいろ
いろなピンクでこまかくぬった
所をくふうしました。春のあた
たかい感じがでてよかったです。

